

花火の魅力

夜の夏の空を優雅に光輝く、その名は花火。夏の祭りや花火大会としても有名だ。花火は日本人の夏を楽しませてきた。僕も子供の頃から花火が1番大好きだ。そんな素晴らしい花火の魅力を君たちに伝えよう。



花火は感動を共有できる

花火の一番いいところは、親子やカップル、家族や友達と感動を共有できること。こんな美しい花火をみてさらに感動を共有できる。これは世界を見渡しても見つからない最強の夏の思い出だ。

火の種類は豊富

打ち上げ花火の種類 日本の打ち上げ花火は大きく分けて、「割物」「半割物(小割物)」「ポカ物」の3種類だ。花火はたったの3種類だけで色々な花火を生み出し、日本人々を感動させてきたのだ。

花火を見たときの効果

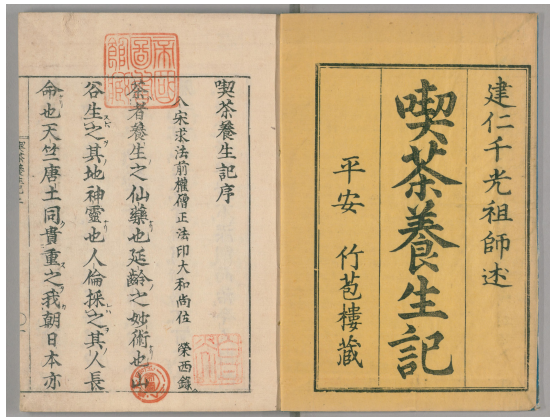
群馬県太田市と浦安市の花火大会に訪れた人約480名にアンケートを取った結果、「ストレス発散になった」「明日への活力を感じた」「コミュニケーションが増えた」といった意見が圧倒的に多く、花火は心身にとって大きなプラスの影響を及ぼすことが分かった。こんな美しい花火を見れるだけでも感動を感じるのに花火を見るだけで心がプラスの方向に行くなんてまさに一石二鳥じゃないか。花火を見るだけで2つも得る事ができる。これはまさに奇跡と言っても過言ではない。

花火は感動を共有できたり心にプラスの影響を与えたりしてきたまさに花火は夏を楽しませそして日本を盛り上げてきた。だから花火は日本の誇りなのだ。

参考資料 <https://www.google.com/https://www.google.com/>
花火の写真 冨木一馬

茶の湯の世界

皆さんは茶の湯を知っていますか。
茶の湯とは人の心を落ち着かせる日本文化の1つです。



これは何だと思いませんか。
これは日本に初めて中国から持ち込まれたお茶です。
持ち込まれたのは平安時代の815年の4月22日僧の永忠が嵯峨天皇に茶を煎じて奉ったとされています。
そして時は流れ江戸時代に千利休が茶の湯を発展させたその後に千利

休は豊臣秀吉のもとで働きそして現代でも秀吉の作った金の茶室で茶の湯がおこなわれています。

長年引き継がれて、現代まで伝わっているのが、実に素晴らしい。この茶の湯の世界を大切にしていきたい。

参考

「喫茶養生記 2巻」明庵栄西記 国立国会図書館デジタルコレクションより